

観察会 『花ごよみ 2009』 12月の報告

2009/12/12 文責：相澤

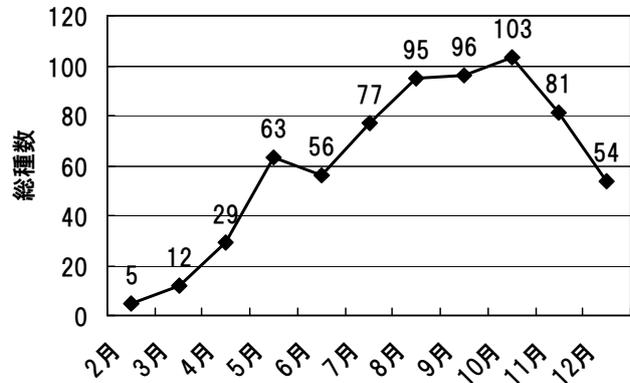
天気：快晴 時間 9:30~12:00

参加者：石堂、市川、岩永、児玉、染谷、高橋、西澤、宮寄、相澤

12月7日に行った観察会『花ごよみ 2009』の報告をいたします。

強めの北風の吹く中、セグロセキレイやシロダモの実なども観察しつつ、色々な植物の種子をじっくり見ながら湿地部を回りました。

花と実のついている種類の数(右図)は、完全なる右肩下がりで、しかも半分は実のついている種で、はっきりと花が咲いている種は21種でした。



	<p>←ゾーン分け</p> <p>記録した植物の状態の分類</p> <p>花 花が咲いている状態。</p> <p>実 実がついている状態。(枯れているものは除く)</p> <p>蕾 花の蕾がみられるが、花は咲いていない状態。</p>
--	--

感想・お気に入り

- まず、先月も咲いていたと同じ所に今月も健気に咲き続けていたハルシオンとヒメジョオンに出逢った時とっても嬉しく思いました。一見、もう野草は咲いているようには思われなような根木内歴史公園、歩いて回ってみると、まだまだ小さな花たちが咲いているではありませんか!ノミノフスマ、タンポポ、ウシハコベ、カントウヨメナ、シロツメクサ、ハハコグサ、ホウキギク... まだまだ... おどろきました。そして、種を結び、この寒さの中、思いっきり風に乗って飛んだり、はじけて落ちたりして、命を繋ぐ旅支度をしている者達の多いこと... 植物は静かにじっとしているところか、忙しく活動している者達もいるということを確認させられました。
- ホウキ菊、花の咲き広がりや葉の形に似ていること、また別名ハハキギクといいハハキは葉のことをいうことからホウキ菊になったとか。すっかり秋の装いのなか、ひっそり咲いていた5mmの花が目にとまり皆寒さにむかって頑張っているなど...ふと愛しさを感じたのですが。刈り込まなければ50から100cmまで成長するとか。まだまだ知らない植物にであえそうです。

記録

花の名前	場所と状態						
	キシウブ池	南側湿地	北側湿地	川側湿地	国道側湿地	南斜面側	北斜面側
アキノエノコログサ	実		実		実		実
アメリカイヌホオズキ							花・実
アメリカセンダングサ			実	実			
アレチノギク		花					
イヌタデ	実	実	実	実	実	実	実
イヌビエ			実				
ウシハコベ	花・実		花・実		花	花	花・実
エノキグサ							実
オオイヌノフグリ	葉				花		
オオオナモミ					実		
オオバコ	実	実					
オカトラノオ					実		
オギ			実	実			
カナムグラ					実		実
カントウヨメナ							花・実
キツネノマゴ	実						
キンエノコロ	実			実			
ケイヌビエ		実	実				
コゴメイ				実			
コセンダングサ	花・実				花・実		
ジュズダマ	実					花・実	
シロツメクサ				花			
スカシタゴボウ			花・実				
セイタカアワダチソウ	花・実			実	花・実	実	花
セイバンモロコシ					実		
セイヨウタンポポ	花				花		
ソクズ	実						
タコノアシ			実	実	実		
タネツケバナ			花				
チヂミザサ						実	
ツルマメ						実	実
ヌカキビ	実		実			実	実
ヌマガヤツリ			実				
ノゲシ	花	花		花			花
ノハラアザミ?					実		
ノミノフスマ		花	花				花
ハキダメギク		花					
ハハコグサ		花					
ハルジオン	花		花				
ヒカゲイノコズチ	実					実	実
ヒメジソ			実	実	実		
ヒメジョオン		花	花		花		
ヒレタゴボウ			実				
ホウキギク				花			

記録 (つづき)

花の名前	場所と状態						
	キショウブ池	南側湿地	北側湿地	川側湿地	国道側湿地	南斜面側	北斜面側
ポントクタデ						実	実
マツカサスキ			実	実			
ミゾソバ		花・実	実				実
ミドリハコベ						花・実	
ムラサキエノコロ					実		
メヒシバ					実		
ヤブミヨウガ						実	
ヨシ		実	実		実		
ヨモギ	実						
ワレモコウ					実		

◇いろいろな植物の種子

今月は観察したいろいろな植物の種子をご紹介します。

コセンダングサ (左) とアメリカセンダングサ (右)



コセンダングサは細長く、アメリカセンダングサは平たい種子です。

カナムグラ



根木内の嫌われ者、カナムグラは麻の仲間で、種が麻に似ております。以前はどちらもクワ科とされていましたが、最近アサ科という科ができたとか・・・

セイタカアワダチソウ



右は2粒の種子の拡大写真。綿毛があって、タンポポと同じような種子です。

ノハラアザミ



アザミの仲間もキク科で綿毛を持った種子を作ります。セイタカアワダチソウよりも大粒で、綿毛は簡単にはずれてしまいます。

ヤブミョウガ



青い汁でも出てきそうな実を潰してみると・・・中は乾いており、灰色のいびつなカタチをし、真ん中が窪んでいる種子が出てきます。思わず虫メガネでのぞきたくなる種子です。

ケイヌビエ



毛むくじゃらな穂を分解して籾をむくと、うすい灰色の光る種子が出てきます。観察会ではきれいだとなかなかの評判でした。

ヌカキビ



写真を撮るのが難しいと評判のヌカキビ。先っちょについた小さな種子。籾をむくとやはりこれも小さく光るきれいな種子が出てきます。

ウシハコベ



花が終わってまるくなっているものをほぐしてみると・・・小さな茶色い種子が出てきます。

カントウヨメナ



左写真は花が終わったカントウヨメナ。良く見ると小さな粒々が集まっているのがわかります。ほぐしてみると、右写真のような種子が見られます。

タコノアシ



枯れてカサカサになっているタコノアシ。これもほぐすと、粉のような無数の種子が出てきます。ほこりのように水に浮いているのも見られます。

イヌタデ



アカマンマとも呼ばれるイヌタデ。ピンク色の花がずっと咲いているのかと思いきや、ピンクの皮の下には黒く光る三角錐の種子があるのでした。